



(仮称) 四季の里リニューアル事業

概要説明資料



令和6年8月

1. 四季の里 施設概要

四季の里は、福島市農村マニファクチャー公園条例(平成7年福島市条例第31号)等に基づき、農業と観光の振興及び市民の福祉向上を目的として整備され、開業から約30年が経過した公共施設です。

東北自動車道・福島西ICから約10分の場所にあり、吾妻山の麓に広がる「あづま山麓エリア」の南西部に位置しています。

【開業】	平成7年7月			
【位置付け】	特殊公園（福島市農村マニファクチャー公園条例により規定） 都市計画区域内、用途地域指定なし			
【所在地】	福島県福島市荒井字上鷲西1番地の1			
【敷地面積】	80,183㎡			
【運営主体】	福島市観光開発株式会社（指定管理：令和6年4月～令和11年3月）			
【施設内容】	〈建築施設〉	建築面積	延床面積	備考
	①工芸館	796.23㎡	784.15㎡	
	②農園レストラン	844.60㎡	760.36㎡	テナント
	③農村いちば	1026.67㎡	432.72㎡	テナント
	④憩いの館	229.80㎡	229.80㎡	テナント
	⑤木もれび広場	674.89㎡	663.20㎡	
	⑥農産加工館	347.48㎡	347.48㎡	
	⑦水車小屋・アイス屋	69.64㎡	69.51㎡	テナント
	⑧庭園喫茶「風」	38.74㎡	38.74㎡	直営
	⑨事務所	335.19㎡	320.19㎡	
	⑩案内所	4.50㎡	4.50㎡	
	⑪ガス小屋	38.74㎡	38.74㎡	
	〈公園施設〉 ①わんぱく広場（ザイルクライミング、バッテリーカー）、 ②じゃぶじゃぶ池、③水と緑の広場、④ハーブ園・バラ園、⑤花の丘			
	【入園料】	無料		
【開園時間】	午前9時～午後9時（12/29～1/3休園）			
【駐車台数】	第1駐車場 196台		計 248台	
	第2駐車場 29台（身体障がい者用4台含む）			
	第3駐車場 23台（社員用8台含む）			
	※四季の里及び金水晶四季の蔵の隣接地に別途170台分新設予定			



▲広域位置図(航空写真:NTTインフラネット)



▲詳細図(航空写真:NTTインフラネット)

2. 四季の里 園内概要

サイトプランの概要を以下のとおりまとめます。

水林自然林



樹齢100年を超えるアカマツやイヌシデ等をはじめ、多くの植物や野鳥が生息しています。また、朝の連続テレビ小説「エール」のオープニング撮影地にもなりました。

工芸館



ガラス小物や土湯こけし、6次化商品の販売の他、ハンドメイド作品の展示販売もあります。なおガラス工房は平成30年度で体験事業を終了し、現在は暫定的な利用となっています。

じゃぶじゃぶ池



扇形の水遊び場です。地下水をひいているため、夏でもひんやり気持ちよく、子どもと一緒に大人も楽しめます。

花の丘・円形花壇



フランス庭園様式を取り入れた円形花壇には、マリーゴールドやペコニアなど植栽されており、四季折々の美しい風景を楽しめます。「恋人の聖地」のシンボリックなエリアです。

農産加工物



市内農家の方が館内の設備を利用して加工品を製造することができます。（要予約）

農園レストラン



アサヒビールやジンギスカンなどが楽しめる施設でしたが、令和5年10月末に撤退してしまい、現在は空きテナントになっています。

農村いちば

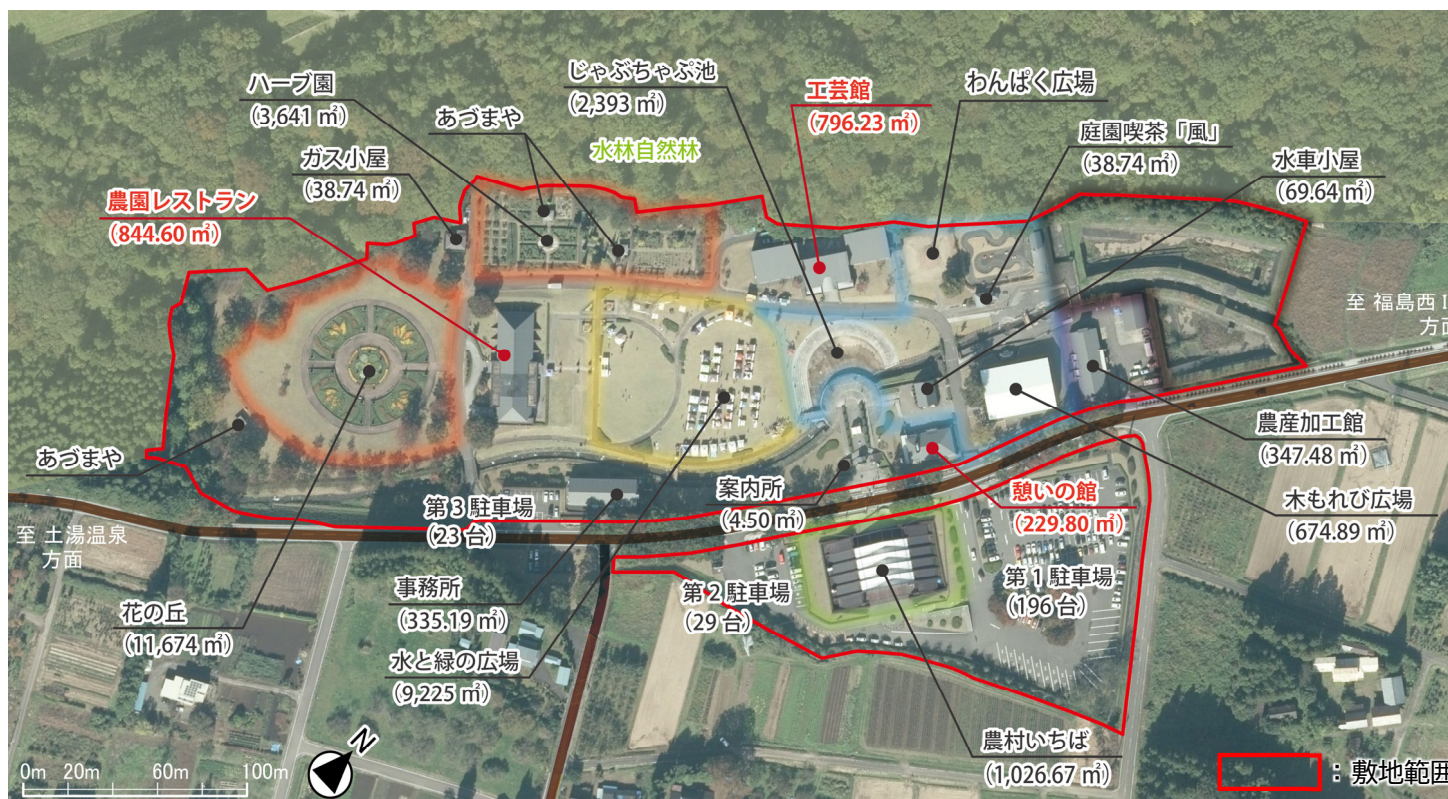


お土産店があり、福島の特産品が購入できます。また三角屋根の下で開催する「朝市」は、新鮮な地元野菜や果物が購入できる人気のイベントです。

憩いの館



蕎麦が食べられる施設でしたが、令和3年1月末に撤退してしまい、現在は空きテナントになっています。



木もれび広場



開園20周年に新たに設置された屋内遊び場施設です。天気の悪い日でも思う存分体を動かすことができます。

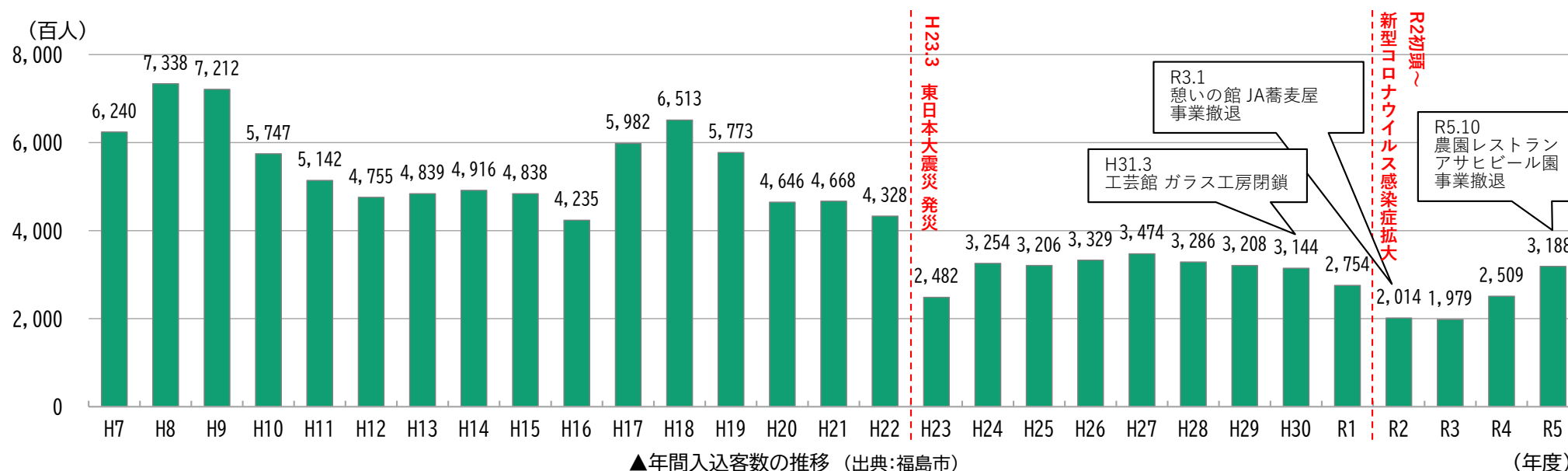
水車小屋



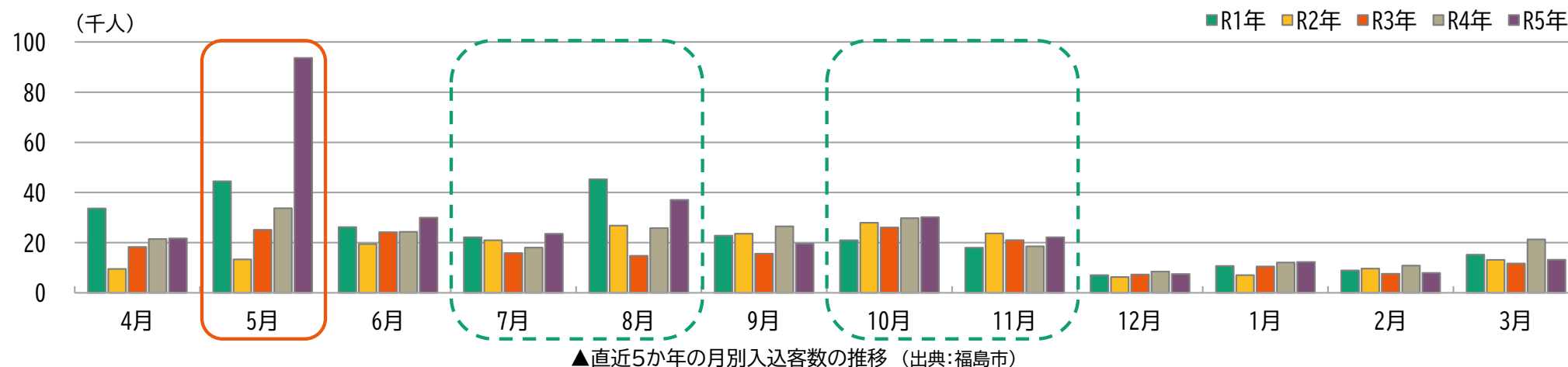
直径6mの大きさの水車がゆっくりと回っています。また小屋内では、常時10種類ほどのジェラートが食べられます。

3. 四季の里 利用状況

四季の里の来園者数は、開業直後の平成8年度に年間最多来園者数(733,843人)を記録しました。近年は新型コロナウイルス感染症の拡大や、テナント事業者の撤退等もありましたが、**令和5年度はこれらの影響前(平成30年度)と同水準の年間来園者数318,764人を記録しました。**



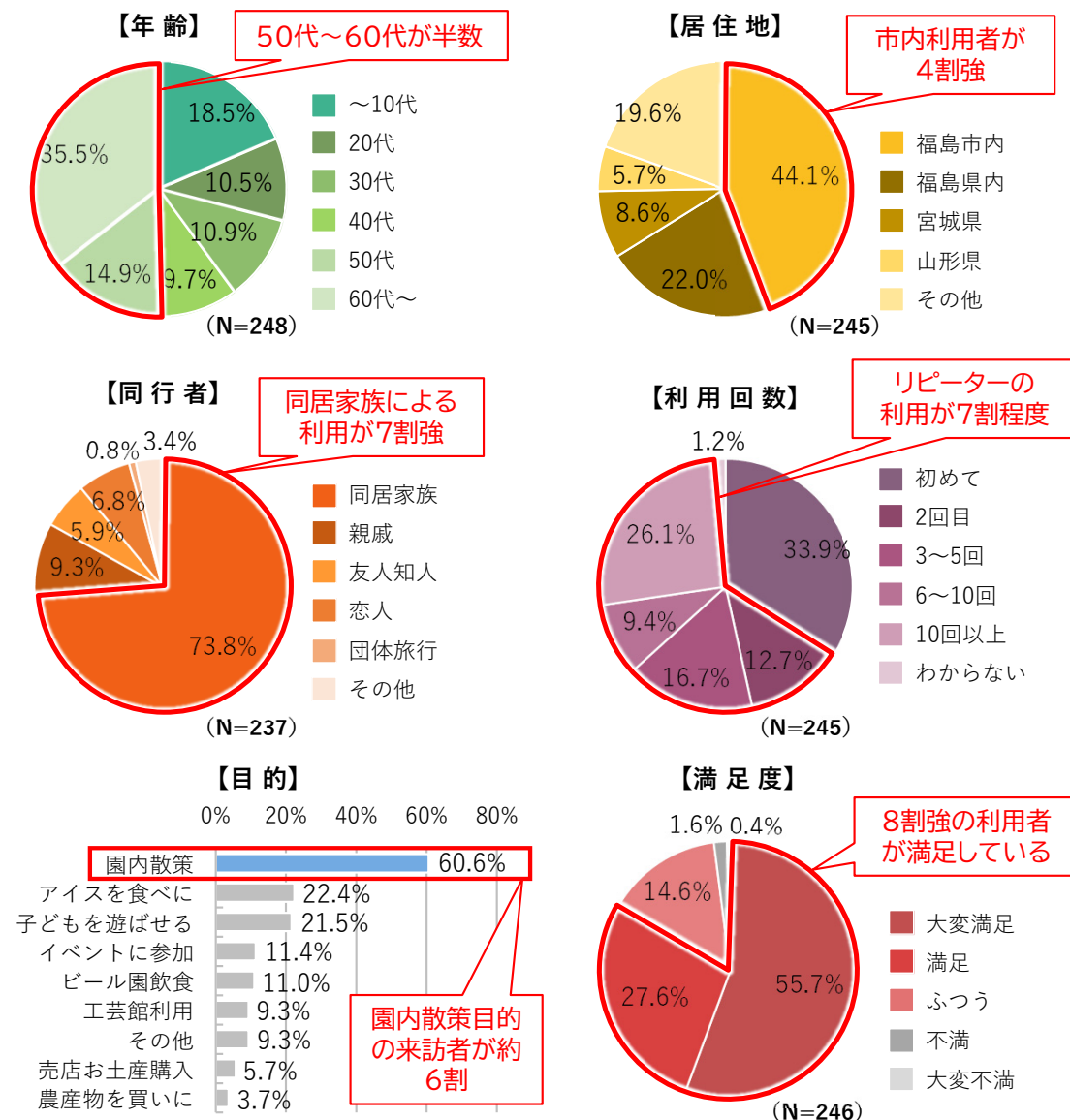
月別の利用者推移を見ると、**例年5月・8月が多い傾向**にあり、**令和5年度はGW時におけるイベント等の積極的な実施により5月の来園者数が特筆して多い傾向**にありました。なお市内他施設においては、GWのある5月の他、**夏休みと市特産品の桃の旬が重なる7～8月**、また紅葉シーズンの10月～11月にも観光入込客数のピークがあることから、周辺施設との連携次第では大きな伸びしろがあります。



3. 四季の里 利用状況

- ◆ 令和5年度4月～1月に四季の里で実施されたアンケートの回答者属性を見ると、「50代～60代」「福島市内在住」「同居家族」による利用が多く、リピーターが7割強を占める結果となっています。また、アンケート回答者の8割強が現在の施設に「大変満足」「満足」している状況です。
- ◆ 一方で、団体利用の事前申込者を見ると、**保育園・幼稚園や小学校といった子どもを中心とした利用が多い他、結婚式の前撮り撮影に訪れる団体利用**もされており、ファミリー層や若年層の利用ニーズも高い状況です。

■ 四季の里 アンケート調査結果（令和5年度 4月～1月実施）



■ 四季の里 令和5年度団体利用(事前申し込み)

保育園・幼稚園～小学生にかけて多くの団体利用がある

	延べ団体数 (団体)	利用人数 (人)	利用目的
保育園・幼稚園	16	1,526	園外活動、春の親子遠足 等
小学校	17	700	
中学校・高校	3	251	
その他学生	3	144	園内散策、遊び 等
福祉団体	15	336	園内散策 等
事業者・組合等	8	243	ビール園食事 等
地区・地域団体	15	597	コーラスの練習、観光 等
団体旅行	8	350	こけしの絵付け、ビール園食事 等
個人	12	91	結婚式前撮り撮影 等
その他	2	31	

団体客による利用ニーズ
が一定程度ある

結婚式前撮り撮影など、個人的な
用事による団体利用もある

■ 四季の里 令和5年度の主なイベント



▲ラーメンショーの様子

▲プレイパークの様子

4. 周辺交通量、人口分布、地域資源

1) 周辺交通量

- ◆ 令和3年道路交通センサスにおいて、四季の里周辺に位置する一般国道115号の交通量は、**9,707台/日**となっています。
- ◆ なお、福島市西部の東北自動車道・福島西ICや、東北中央自動車道・福島大笹生IC周辺の交通量が多く、一般国道115号については、土湯温泉周辺まで10,000台/日弱の交通量があります。

【国道115号 四季の里周辺区間交通量】

昼間 12時間 交通量	上り	3,989台 大型車混入率 12.0%	計：7,828台 大型車混入率 12.3%
	下り	3,839台 大型車混入率 12.7%	
24時間 交通量	上り	4,943台 大型車混入率 14.5%	計：9,707台 大型車混入率 14.9%
	下り	4,764台 大型車混入率 15.2%	

※ 上り：福島西IC方面 / 下り：猪苗代方面
(出典：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査)

【24h 交通量 (上下計)】

20,000 台以上
10,000 台 ~ 20,000 台
4,000 台 ~ 10,000 台
1,500 台 ~ 4,000 台
500 台 ~ 1,500 台
~ 500 台

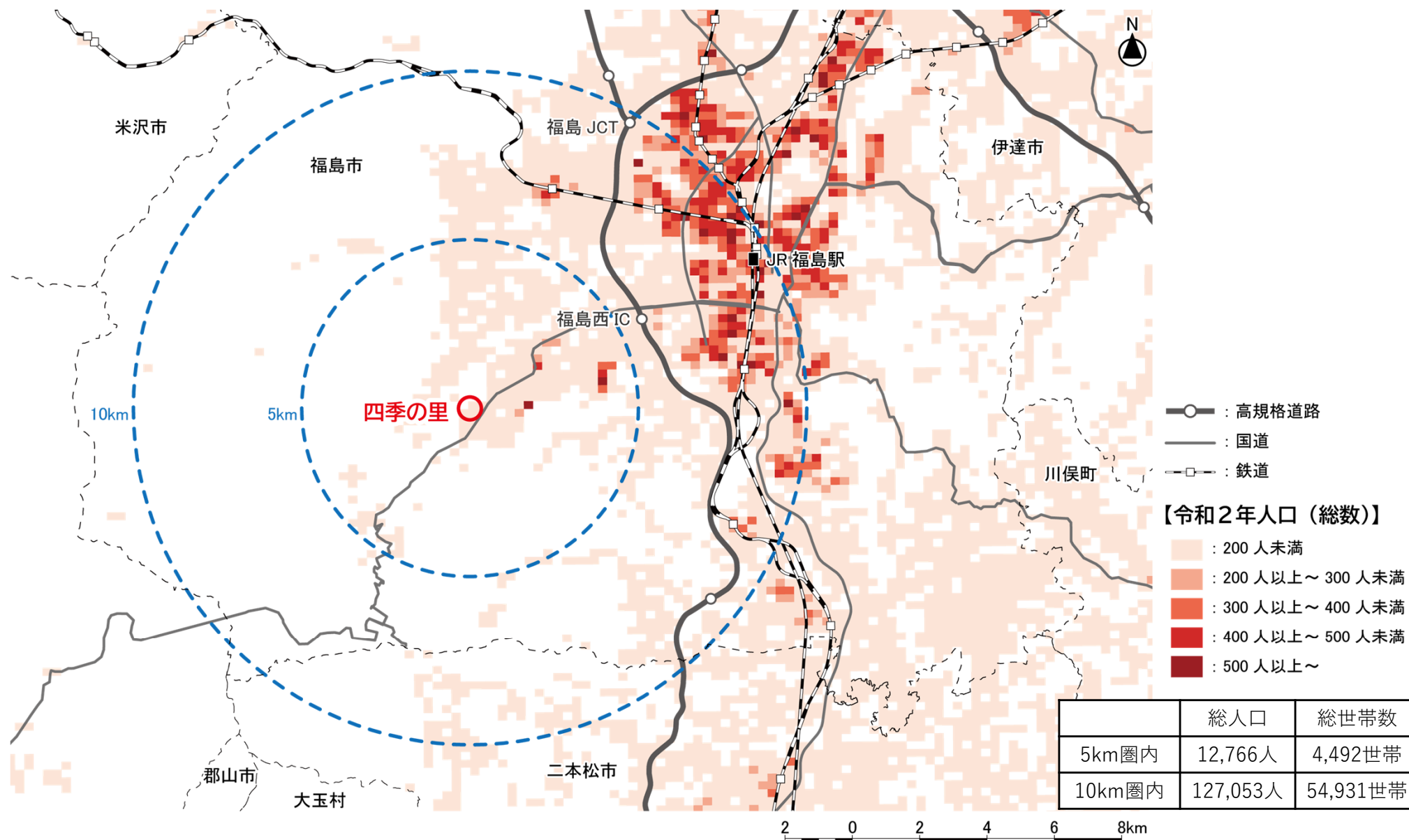
高規格道路
 新幹線
 東北本線
 福島交通飯坂線、阿武隈急行線



4. 周辺交通量、人口分布、地域資源

2) 人口分布

R2年度国勢調査より、四季の里から同心円5km・10km圏内に居住している人口・世帯数を整理しました。
四季の里より10km圏内にはJR福島駅が含まれるため、人口・世帯数の多くはJR福島駅周辺の中心市街地に集中しています。



4. 周辺交通量、人口分布、地域資源

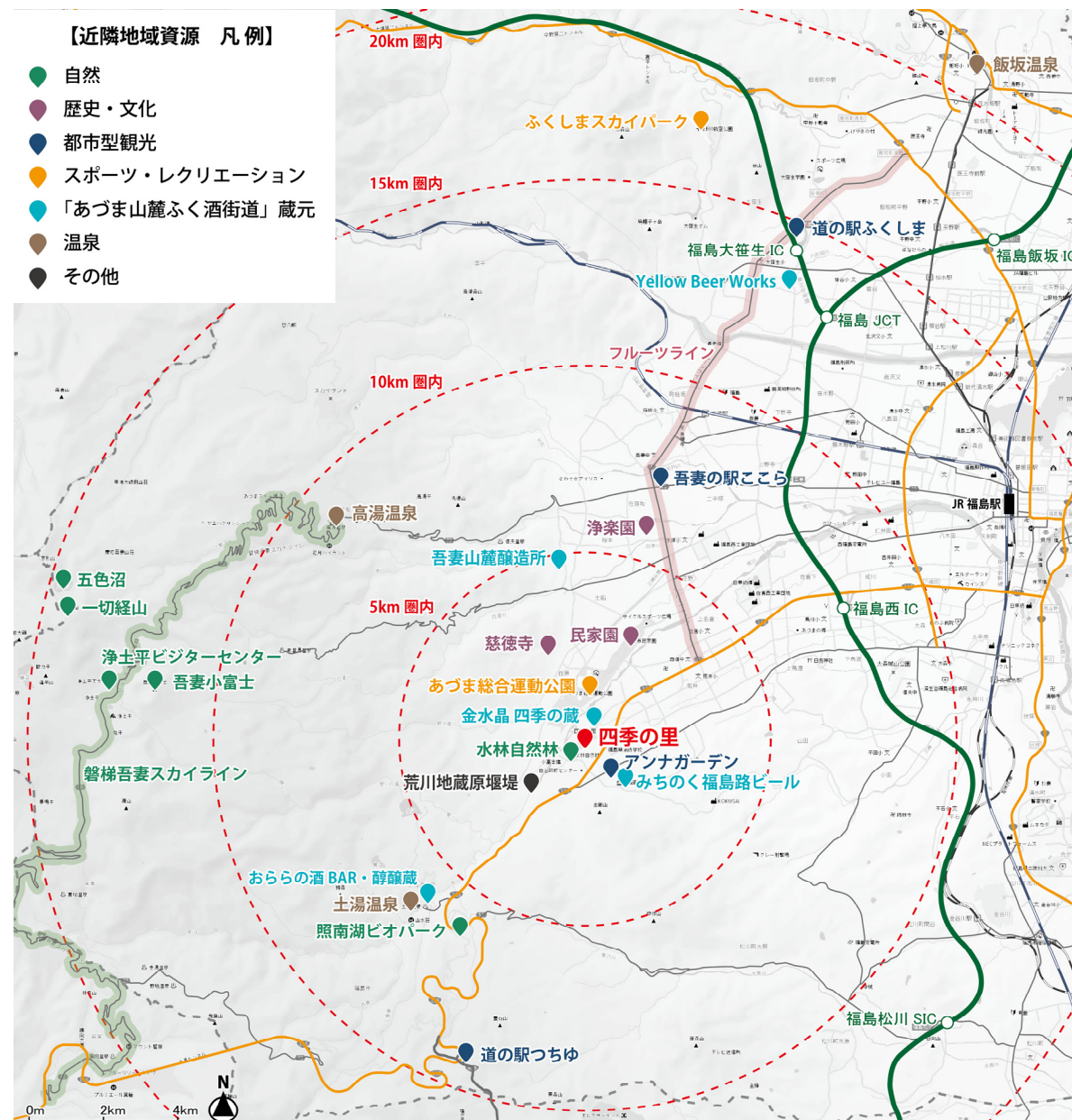
3) 地域資源

近隣の代表的な観光拠点と年間入込客数を以下に整理します。

【周辺の主要行楽地・温泉地の年間入込客数（令和5年）】

距離	施設名	ジャンル	入込客数(人)
	四季の里	スポーツ・レクリエーション	330,449
5 km 圏 内	あづま総合運動公園	スポーツ・レクリエーション	1,380,463
	アンナガーデン	都市型観光-買い物・食-	224,292
	福島市民家園	歴史・文化	57,200
10 km 圏 内	吾妻の駅こころ	都市型観光-買い物・食-	163,337
	道の駅つちゆ	都市型観光-買い物・食-	157,811
	土湯温泉	温泉・健康	236,820
	高湯温泉	温泉・健康	161,374
15 km 圏 内	磐梯吾妻スカイライン	自然	825,090
	道の駅ふくしま	都市型観光-買い物・食-	1,588,539
	観光果樹園	歴史・文化	53,098
	吾妻山（登山者数）	自然	28,448

出典：R5年福島市観光入込客数



4. 周辺交通量、人口分布、地域資源

3) 地域資源

近隣の代表的な資源の特徴を以下に整理します。

景 勝 地 等

吾妻連峰(通称:吾妻山)

東吾妻山、一切経山などから成り、最高峰は2,035メートルの西吾妻山です。夏から秋にかけての登山はもちろん、市街地から遠望すると吾妻小富士の残雪が「雪うさぎ」に見えることから親しまれています。



出典:福島市HP

五色沼(魔女の瞳)

沼はコバルトブルーの色をしており、太陽光の具合で刻々と色が変わることから「魔女の瞳」とも呼ばれています。磐梯吾妻スカイラインの浄土平駐車場から約90分、1,949mの一切経山(いっさいきょうざん)山頂からの眺めは格別です。



出典:福島市HP

磐梯吾妻スカイライン

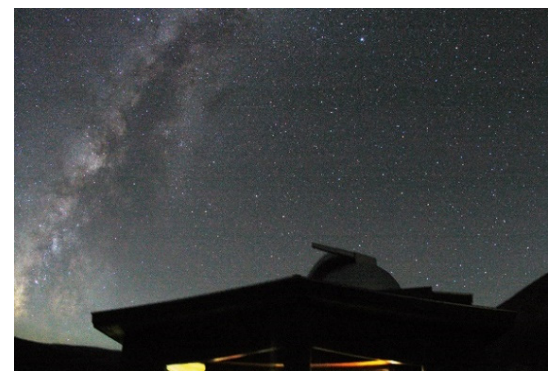
全長約29km、最高標高1,622m(平均標高1,350m)の観光道路で、「日本の道100選」では、日本離れしたスケールの山岳道路としても認められています。春・夏・秋と季節の移ろいごとに様々な絶景を楽しめます。



出典:福島市観光ノートHP

浄土平天文台

磐梯朝日国立公園の標高1,600mに位置する日本一高い所にある公開天文台であり、光害が少ないので美しい星空を眺めることができます。また流星群の活動が活発な夏には流れ星に出逢える確率が高くなります。



出典:福島市HP

4. 周辺交通量、人口分布、地域資源

3) 地域資源

近隣の代表的な資源の特徴を以下に整理します。

温泉

飯坂温泉

温泉街を流れる摺上川沿いに旅館が建ち並ぶ“福島のお座敷”。松尾芭蕉が立ち寄り湯につかったとされる鯖湖湯をはじめ9つの共同浴場があり、手軽に温泉巡りが楽しめます。



出典：福島市HP

高湯温泉

白布温泉、蔵王温泉とならび奥州三高湯の一つに数えられる温泉です。2010年、東北初の「源泉かけ流し宣言」を発表しました。乳白色のお湯は、肌がすべすべになると人気を集めています。



出典：福島市HP

歴史文化

土湯温泉

1,400年以上の歴史を持つ温泉は「東北三大こけし発祥の地」として有名で、豊富な湯量と全国でも珍しい10種類以上の泉質を持ち、「土ゆっこ」「かじかの湯」「月の湯ぶじえ」「きぼっこの湯」と4つの足湯が楽しめます。



出典：福島市HP

民家園

江戸時代中期から明治時代中期にかけての県北地方の民家を中心に、芝居小屋、宿店、料亭等を移築復原しています。芝居小屋の旧広瀬座は国指定重要文化財となっており、年中行事の再現や、民具製作の実演などの伝承活動も行っています。



出典：福島市HP

4. 周辺交通量、人口分布、地域資源

3) 地域資源

近隣の代表的な資源の特徴を以下に整理します。

観光施設

道の駅ふくしま

2022年4月、東北中央自動車道「福島大笹生IC」出口付近にオープンした道の駅です。吾妻連峰を見渡すロケーションに位置しており、ここでしか味わえない地元グルメや産品が揃います。また「屋内こども遊び場」や「ドッグラン」があり、1日楽しめます。



出典: 福島市HP

道の駅つちゆ

福島県第1号の道の駅として平成5年4月にオープンしました。市街を一望できる国道115号沿いにあり、周辺には様々な温泉が点在し、湯めぐりのターミナルとなっています。旬の果物や土湯こけし、名物ちぎりこんにゃくが楽しめます。

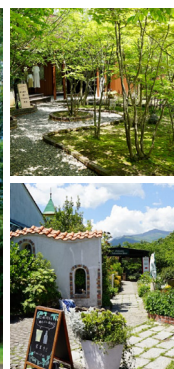


出典: 福島市HP



アンナガーデン

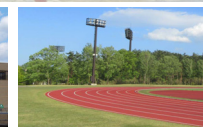
福島市と吾妻連峰の山麓に位置しており、聖アンナ教会を中心に、個性豊かな逸品を扱うショップが揃っています。四季折々の風景を眺めながら、地ビールやこけし館、雑貨、グルメを楽しむことができます。



出典: アンナガーデンHP

あづま総合運動公園

吾妻連峰の麓、荒川沿いにある面積100haにも及ぶ広大な広域公園です。陸上競技場や野球場、総合体育館等の運動施設のほか、家族で楽しめる公園や歴史・文化施設など多種多様な施設があり、一年を通して楽しめます。



出典: 福島市HP

4. 周辺交通量、人口分布、地域資源

3) 地域資源

近隣の代表的な資源の特徴を以下に整理します。

観光資源

フルーツ

福島市は初夏から初冬にかけて様々なくだものが採れる「くだものの宝石箱」です。中でも全国トップクラスの出荷量を誇る【桃】は、福島市を代表する果物です。「あかつき」や「まどか」など豊富な品種が数多く並びます。



出典: 福島市HP

あづま山麓蔵元ツーリズム（金水晶四季の蔵など）

「あづま山麓エリア」には、14年連続水質日本一に選ばれている「荒川」など吾妻山麓の伏流水を活用した多様な酒（日本酒・ビール、ワイン、どぶろく等）を醸造する蔵元5つが集結しており、令和6年春より「あづま山麓ふく酒街道」としてPR・周遊事業等を展開しています。



出典: 福島市観光ノートHP

吾妻五葉松

あづま山麓周辺に自生する五葉松は「吾妻五葉松」と呼ばれ、四国五葉松、那須五葉松と並んで「日本三代五葉松」に数えられています。盆栽の世界では、世界中の盆栽ファンに知られるブランドとなっています。



出典: 福島市観光コンベンション協会HP

朝ドラ『エール』ロケツーリズム（水林自然林など）

朝の連続テレビ小説「エール」のロケ地に福島市民家園や、四季の里に隣接する水林自然林が起用されました。「古閑裕而記念館」など、朝ドラに関する観光スポット巡りの一環としても利用者が訪れています。



出典: 福島市HP

5. 「あづま山麓エリア」担う役割・位置付け（案）

四季の里が「あづま山麓エリア」において担う役割や位置付けについて、以下のように想定します。

【四季の里設置に関わる位置付け】（福島市農村マニファクチャー公園条例）

第1条（設置）：農業と観光の振興及び市民の福祉向上に寄与するため、福島市農村マニファクチャー公園（以下「公園」という。）を設置する。

第3条（事業）：公園は次に掲げる事業を行う。

- （1）公園の施設及び設備を一般の利用に供すること。
- （2）地元農産物の販売に関すること。
- （3）農産物の加工に関すること。
- （4）農業と観光の振興に関すること。
- （5）前各号に掲げるもののほか、公園設置の目的を達成するために必要な事業

内部環境（「四季の里」の強み・弱み）

Strength

- ・福島西ICと土湯温泉、吾妻山を結ぶ道中にあり、**周辺交通量は比較的多い。**
- ・園内から吾妻小富士を望める他、園内には荒川から分流した水が流れる水路が設置されているなど、**吾妻山に関連する豊かな自然を感じることができる。**
- ・多彩な用途の園内施設が立地しており、**子どもから高齢者まで幅広い世代に利用**されている。特にGWを中心に利用者が多く、**夏季は「じゃぶじゃぶ池」を中心にファミリー層の利用**が多く見られる。
- ・16世紀の西欧風建築をイメージしたレンガ造りの建物が建ち並ぶ他、円形花壇のフランス庭園や、バラ園・ハーブ園があり、**印象的な意匠**となっている。
- ・令和4年10月「**恋人の聖地**」に認定され、結婚式の前撮りに訪れる利用者が多数いる他、ガーデンウェディングも可能な場となっている。
- ・駐車場の増設が予定されており、**自動車による来訪需要への受け皿**が整っている。
- ・**水林自然林や金水晶が隣接し、相乗効果による集客力向上が期待**できる。

Weakness

- ・市中心部から10km程度離れており、**自動車以外でのアクセスが困難**である。
- ・農園レストラン、憩いの館、工芸館（ガラス工房）といった目的性の高い施設の撤退、事業中止により、**園内の来訪動機や過ごし方が限定**されている。
- ・園内を市道が横断しており、**南北エリアの一体的利用が困難**となっている。
- ・園内動線の都合上、多数の施設が並ぶ**園内北東部に賑わいが偏っている。**

外部環境（「あづま山麓エリア」の魅力・強み 等）

- ・「あづま山麓エリア」内には、土湯温泉、高湯温泉、飯坂温泉の**福島市三名湯**が位置しており、年間を通して**長期滞在型の観光需要が高いエリア**である。
- ・吾妻山には吾妻小富士や五色沼、磐梯吾妻スカイラインなどの景勝地が多数あり、**行楽シーズンを中心に多くの登山客等**が訪れている。
- ・あづま総合運動公園には、東京2020オリンピックで野球／ソフトボールの会場となった他、J3福島ユナイテッドFCのホームスタジアムが位置している等、**スポーツイベントが定期的に開催**されている。
- ・フルーツライン（県道5号線）を中心に果樹農園や産直施設が多数立地しており、**福島市の名産品である桃など1年を通じたフルーツの魅力**がある。
- ・吾妻山に自生する「吾妻五葉松」は「日本三大五葉松」として**海外からもファンを獲得**している他、福島市内を流れる「荒川」が14年連続水質日本一を獲得しているなど、**吾妻山を起点とした豊かな自然資源が多数**ある。
- ・民家園や浄楽園など歴史・文化施設が点在している。
- ・「あづま山麓ふく酒街道」の事業展開が行われているなど、**福島市西部の一带を「あづま山麓エリア」としてPRする動きが活発**である。

競合環境

- ・**農産物を中心とした市内特産品の販売**については、年間160万人程度の集客を誇る道の駅ふくしまで実施されていることから、**差別化が必要**である。
- ・**屋外アスレチック施設**については、近隣のあづま総合運動公園に多数設置されていることから、**同様のテーマでの新たな誘客は難しい環境**にある。

【「あづま山麓エリア」における四季の里の担うべき役割】

- ◆ 周辺他施設との差別化戦略として、**吾妻山を望みながらゆっくりと時間を過ごすことのできる施設**とする。
- ◆ 隣接する水林自然林、荒川との連携により、**吾妻山の豊かな自然や、その自然によりもたらされる地域資源（特に農業）のストーリー性を体感することのできる施設**とする。
- ◆ 「あづま山麓エリア」の南西部のゲートウェイとして、当エリアの魅力・情報発信拠点かつ「あづま山麓ふく酒街道」など吾妻山麓ツーリズムの出発拠点となる。

6. 四季の里リニューアルコンセプト（案）

【リニューアルコンセプト（案）】

吾妻山のふもとで四季を通じて子どもから大人まで時間を忘れて楽しめる公園

吾妻山の麓に位置し、近くには清流日本一の荒川が流れ、水林自然林にも隣接している恵まれた自然環境を活かし、子どもは四季を通じて遊び・学び・様々な体験をして過ごし、大人は四季を感じながらゆっくりとした時間を過ごすことのできる、幅広い世代が時間を忘れて滞在したくなる施設を目指します。

【ターゲット及び施設全体で目指す提供価値（案）】

ターゲット層	目指す提供価値（案）	導入機能・取り組み例
①ファミリー層 	- 既存の遊び場・遊具を目的として利用しているファミリー層が長時間滞在可能な場・コンテンツの提供を図る。 「遊び」のみならず、「体験」や「学習」といったコンテンツの強化により、「何度も訪れたいくなる」複合的魅力的提供を図る。 - 子どものみならず、親世代からも「お出かけ先」として選ばれるコンテンツの提供を図る。	▶ 季節、天候に関わらず利用可能な遊び場 ▶ 親子で利用可能な飲食・休憩機能（昼食利用 等） ▶ 吾妻山に関連する地域資源の学習機能 ▶ ものづくりメニューの拡充 ▶ 親子で参加可能なイベントの積極実施 ▶ テイクアウト可能な飲食、物販機能 ▶ 「あづま山麓エリア」の魅力・情報発信機能
②若年層 	「あづま山麓エリア」等の観光周遊の目的地、あるいは立寄地の1つとして選ばれるコンテンツの提供を図る。 ▶ ゆっくりと時間を過ごし、語らうことのできる環境の提供を図る。 ▶ 旅行や来訪時の思い出・記念となるフォトスポット及び環境の提供を図る。	▶ テイクアウト可能な飲食、物販機能 ※再掲 ▶ フルーツ等の特産品を活用した飲食機能（カフェ 等） ▶ 花の丘や芝生広場の利用を想定したアウトドア用品（テント、タープ等）等の貸出機能 ▶ バラ園・ハーブ園など園内植栽の情報発信機能 ▶ 若年層向けイベントの実施
③シニア層 	▶ 園内散策などゆっくりとした時間を過ごすことのできる環境の提供を図る。 ▶ あづま山麓エリア、四季の里「ならでは」の体験や学びの提供を図る。 ▶ 次の目的地や旅先の検討に役立つ情報の提供を図る。	▶ 「静・動」のエリア分けに留意した導入機能検討 ▶ ゆっくりくつろげる飲食・休憩機能（カフェ 等） ▶ 吾妻山に関連する地域資源の学習機能 ※再掲 ▶ 「あづま山麓エリア」ならではの物販機能 ▶ 「あづま山麓エリア」の魅力・情報発信機能 ※再掲

6. 四季の里リニューアルコンセプト（案）

【ゾーニングイメージ】

前頁で整理した提供価値（案）をもとに、対象3施設に期待する役割と、実現に向けた課題について下記のとおり整理します。

（前）農園レストラン
建築面積：844.6㎡ 延床面積：760.4㎡

「あづま山麓エリア」の魅力発信施設

- ・園内のメイン動線から外れているため求心性の高い機能が必要
- ・導入機能、用途によっては改修等の検討が別途必要

 工芸館（ガラス工芸館跡）
対象エリア面積：231.75㎡

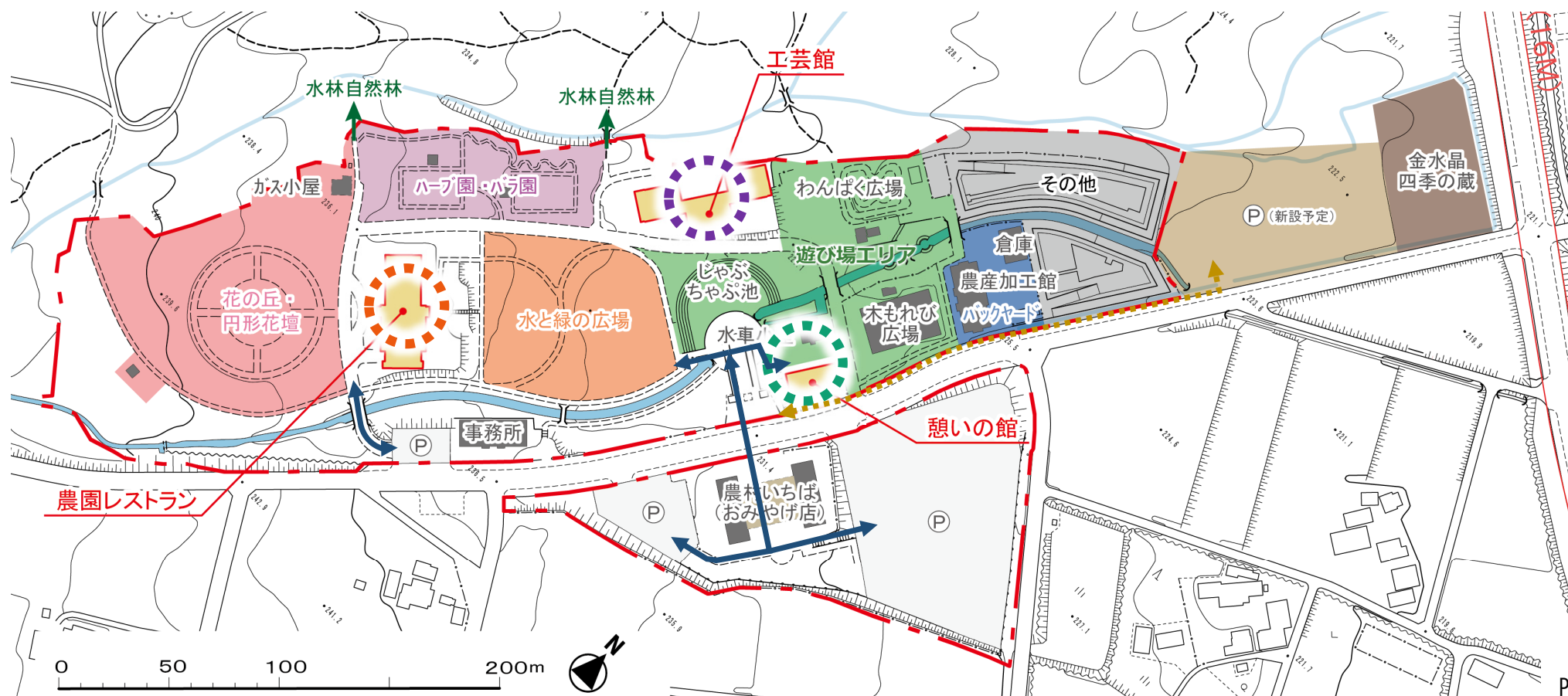
園内及び水林自然林の散策拠点施設

- ・園内中央に位置しており、東側の「動」のエリアと、西側の「静」のエリアを繋ぐ機能が必要
- ・工芸館の既存機能である休憩、物販、体験機能との連携が必要

 憩いの館
建築面積：229.8㎡ 延床面積：229.8㎡

親子利用の玄関口となる滞在可能施設

- ・園内動線上、子どもの遊び場が多数立地するエリアの玄関口に位置していることから、それらの施設と親和性が高く、相乗効果を生む機能が必要



7. リニューアル対象3施設の概要

■ 農園レストラン(旧アサヒビール園)

- ✓ 【施設全体】建築面積:844.6㎡ 延床面積:760.4㎡ 【対象範囲】690.7㎡
- ✓ 構造:鉄構造
- ✓ 建築年月日:平成7年6月30日供用開始

- ・従業員スペースには事務室の他、男女別のロッカーや従業員用トイレ、更衣室が設置されている。



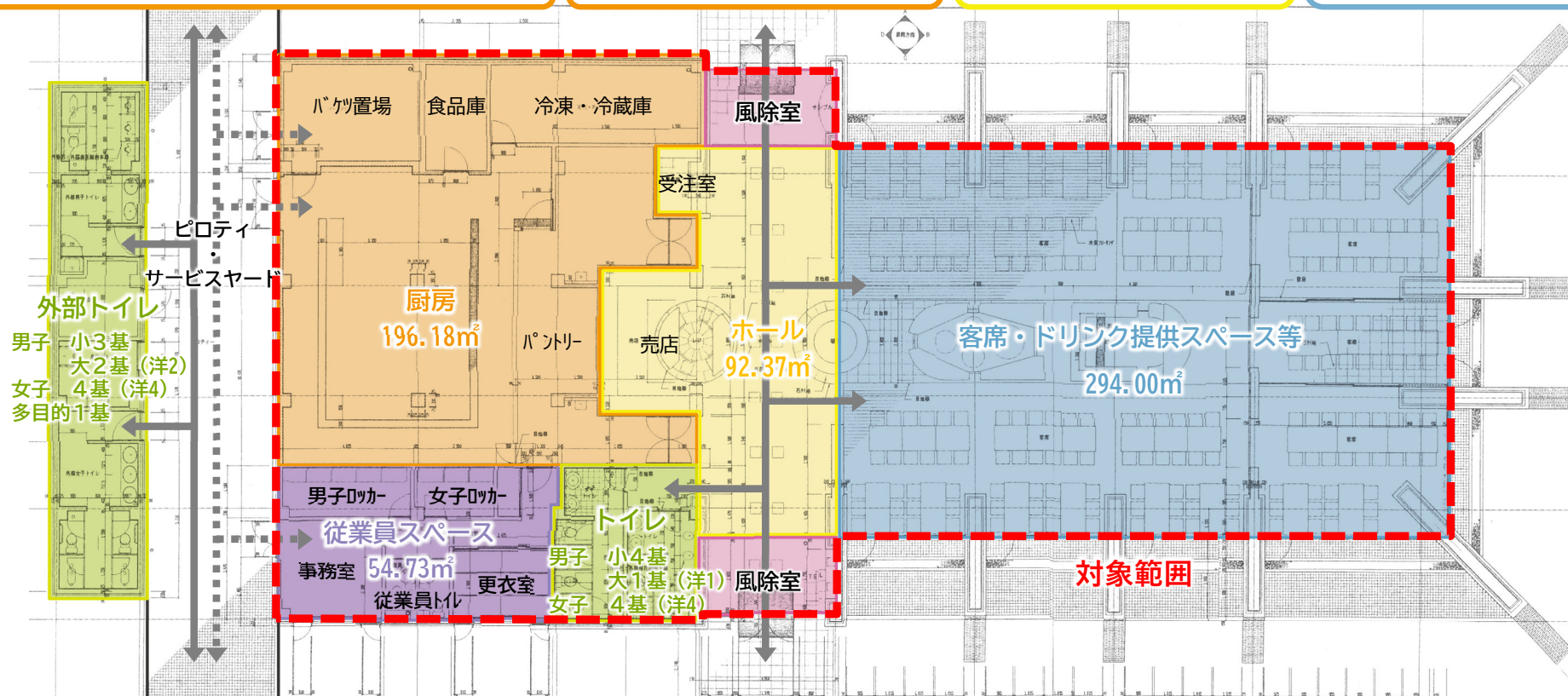
- ・冷凍冷蔵庫やパントリーなどの厨房設備・機器が残されている。



- ・ホール内には売店スペースなどが設置されている。



- ・客席中央にドリンク提供スペースが設置されている。



7. リニューアル対象3施設の概要

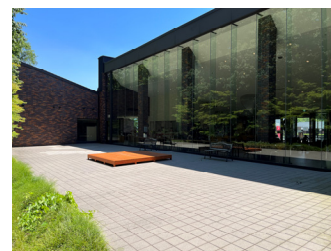
■ 工芸館 一部（旧ガラス工房）

- ✓ 【施設全体】建築面積：796.23㎡ 延床面積：784.15㎡ 【対象範囲】240.0㎡
- ✓ 構造：鉄構造
- ✓ 建築年月日：平成6年11月14日供用開始

- ・現在は吹場を展示スペースとして活用している。
※炉は公共で撤去予定



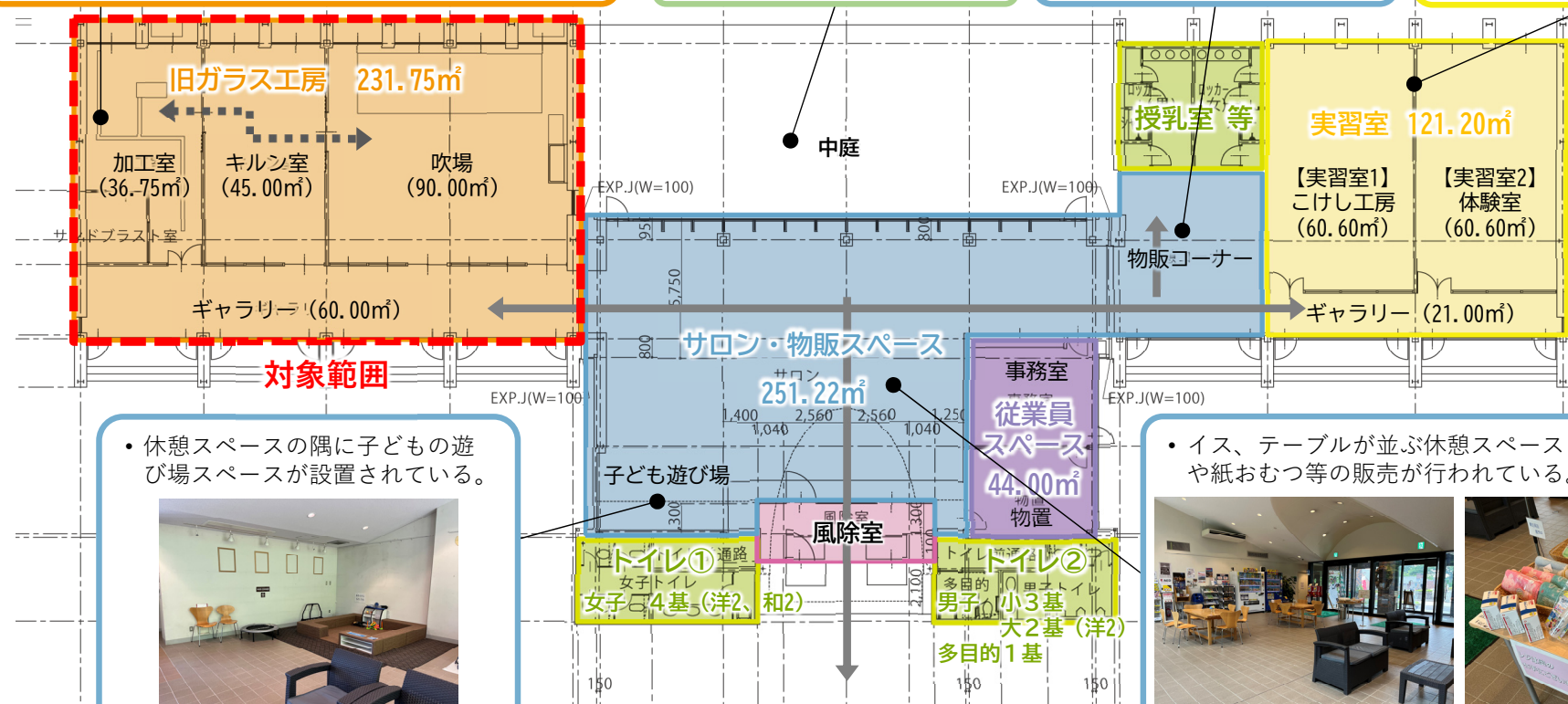
- ・サロン・物販スペースから
出入り可能な中庭空間。



- ・地域性のあるクラフト雑貨
等の販売が行われている。



- ・こけし絵付け、ガラス絵付
け掘り体験を提供している。



- ・休憩スペースの隅に子どもの遊
び場スペースが設置されている。



- ・イス、テーブルが並ぶ休憩スペースとともに、軽食
や紙おむつ等の販売が行われている。



7. リニューアル対象3施設の概要

■ 憩いの館 (旧JA蕎麦屋)

- ✓ 【施設全体】建築面積:229.8㎡ 延床面積:229.8㎡ 【対象範囲】154.5㎡
- ✓ 構造:鉄構造
- ✓ 建築年月日:平成6年11月14日供用開始

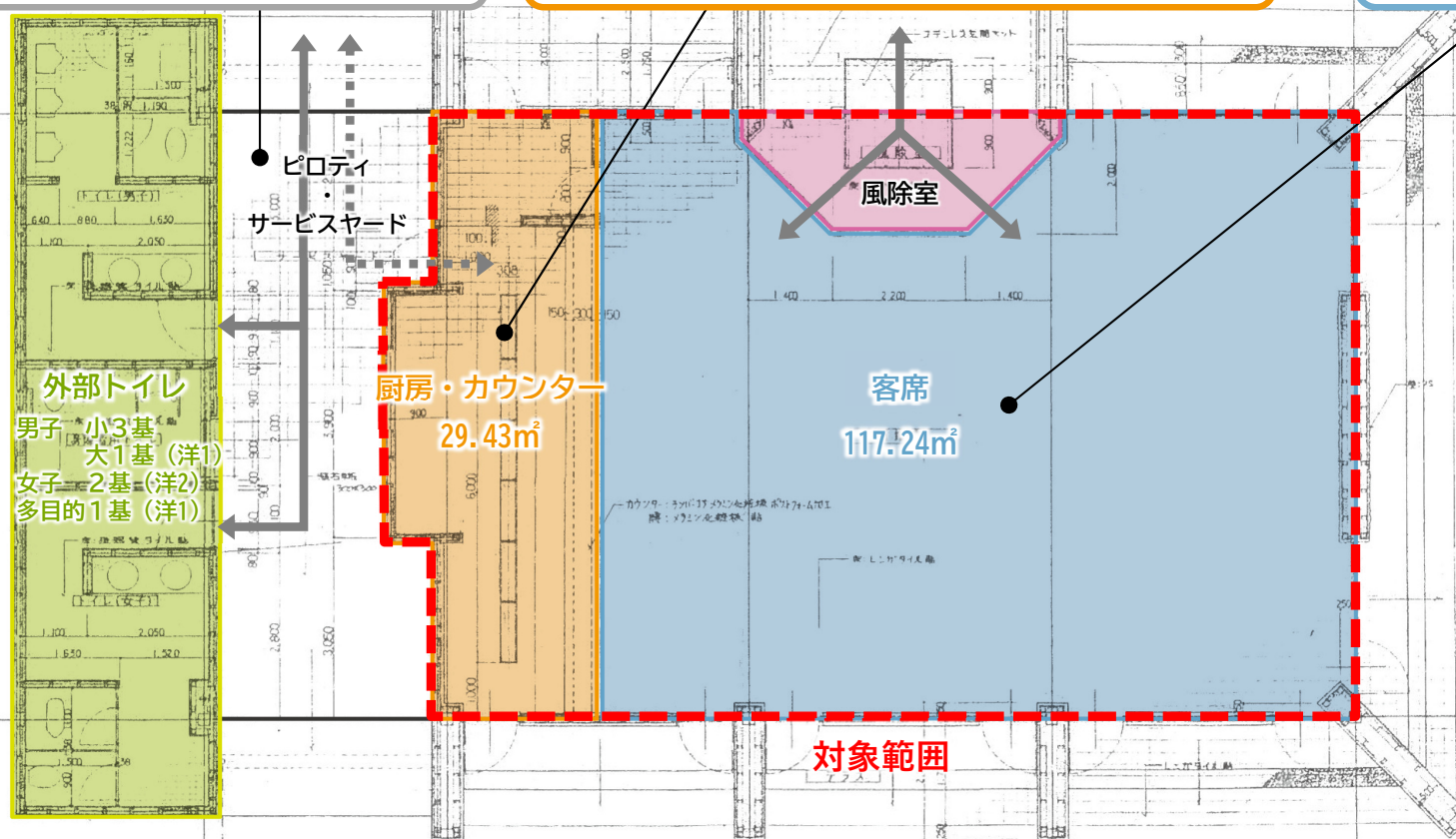
- ・ピロティ、サービスヤード内には自動販売機やコインロッカー、またプレハブ冷蔵庫が設置されている。



- ・厨房には冷凍・冷蔵庫やそば釜などの厨房設備・機器が残っている。※イベント時等の活用実績あり



- ・客席のイス、テーブルといった什器類が残っている。



8. 今後の官民対話スケジュールについて

今後の官民対話に関わるスケジュールは以下のとおり想定しています。

R6年度 8月～9月

①-1 プレサウンディング調査 【本調査】

目的：以下の事項について幅広く意見を聴取

・コンセプトの方向性（案）の是非／・テナントの出店意欲／・出店等の成立条件／・公募のあり方（施設範囲・業務範囲等）



公募条件の具体に関する対話は今年度別途実施予定

R6年度 11月～12月（予定）

①-2 サウンディング調査

目的：対象3施設への出店に関する公募条件のあり方について意見を聴取（予定）



・対象施設の利活用に関する方針整理
・公募条件の整理 等
・公募

R7年度以降

公募条件等が整った対象施設から随時、公募・テナント入居を開始

R6年度 12月～1月（予定）

② イベント実施に関わるニーズ調査

目的：四季の里全体で5,000人以上の規模のイベント誘致に向けた意見を聴取（予定）